

令和元年度 藤枝順心中学校・高等学校 学校評価 ()部

建学の精神 女性の自律・自主と先度他の心の涵養				
教育目標 白梅精神のもと、「清楚な生徒」、「芳香を発する生徒」、「忍耐のできる生徒」を育てる。				
本年度の重点目標 ①学習指導の充実 ②進路指導の充実 ③生活指導の充実 ④情報発信の充実 ⑤健康管理 ⑥安全管理				
重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
①学習指導の充実	アクティブ・ラーニング	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試改革に向けて、アクティブ・ラーニング、ICTを利用した授業を実践する。 〔5教科による、年2回の授業を行い、全職員で授業検討会を行う。 (前期はICTを利用)〕 		
	学力分析と学習方法の考察	<ul style="list-style-type: none"> ベネッセの到達度テスト(基礎力診断テスト及びスタディサポート)の結果から、学力の抜け漏れを確認しそれを補う指導をする。 各学年で、生徒に学習させる方策を検討し、実践する。 〔学力の質・量の向上〕 		
②進路指導の充実	就職指導	<ul style="list-style-type: none"> 3年後の就職を意識させ、3年間を見通した指導計画を提示。 希望する企業から説明を受ける機会を設ける。(本校に20社程度来校する予定) 職場見学や卒業生等による講話を通して、会社への理解を深め社会人になることへの意識高揚を図る。 徹底した面接指導及び基礎学力の充実を図り、希望する会社への内定を勝ち取る。 		
	進学指導	<ul style="list-style-type: none"> 国公立大学&中堅以上私大推薦AO入試合格4名、一般入試合格4名(センター試験70%を目標として実力養成) 高大接続改革(CBT・論述問題ポートフォリオ)への対応 高校基礎学力テスト(到達度テスト)への対策(基礎力診断テスト・スタディサポートの活用) 進路ガイダンスの改善・充実。 外部模試の準備・受験・復習の充実(ラーニングシステムの利用) スコラで計画的な学習習慣を、スタディサプリと受験対策講座で学力をつける。 		

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
③生活指導の充実	礼法教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・「your steps」に従い美しい所作を指導する。（椅子の掛け方、歩き方、ドアの開け方、お茶の入れ方など） ・会食指導は礼法にかなった食事作法を実践する。 ・会釈・挨拶の励行をし、場に応じた挨拶の指導をする。 ・「授業をする上での留意すべき事項」に従い、礼法指導に即した授業実践をする。 		
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報収集→まとめ→分析→報告」を繰り返し、教師相互の共通理解を図り、指導にあたる。 ・一報を通して迅速な情報共有に努める。 ・週番活動を通して校風高揚に貢献する姿勢を指導する。 ・校風向上週間、マナーアップキャンペーンで清楚な身なりを指導する。 ・清掃活動を通して環境美化に努め、施設を丁寧に使用することを指導する。 ・教室内の整理整頓を通して私物の管理を正しく行い、清潔な生活感覚を育てる。 		
④情報発信の充実	学年通信 学級通信	<ul style="list-style-type: none"> ・通信を、学年主任・担任と保護者とのコミュニケーションの一つと捉え、学年・学級の状況を伝える。 〔月1回発行〕 		
	オープンキャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスは年2回実施し、担任とのコミュニケーションを図る機会とするなど学校理解の促進に努める。 〔参加率70%達成をめざす〕 		
	ホームページの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信のタイムリー性と実用性の向上 ・学年・分掌・教科内での原稿作成者決定（行事、検定等） ・各行事の更新担当を明記 ・部活動記録の月毎の更新 		

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
⑤健康管理	保健管理 保健教育 健康相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の健康観察、定期健康診断の実施 ・ 校内の救急体制を整備し、家庭との連携を密にする。 ・ 生徒の成長や実態に即した健康教育を実施する。 ・ 健康相談の充実を図り、生徒の支援を行う。その際、必要に応じ、スクールカウンセラーとの連絡を密にする。 		
⑥安全管理	避難訓練の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機意識を高めるための訓練を実施する。 ・ 南海トラフ地震について知る。 ・ 集団下校訓練を行う。 		
	職員防災体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災関係の職員研修会を実施(7月) ・ 初期消火訓練、救急対策講習会などの実践的訓練を通し、職員の意識向上を図る。 ・ 職員の役割分担の周知、徹底をはかる。 		